食品･飼料･環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

遺伝子組換え検査 GMO 大豆 シリーズ

ELISA 法による遺伝子組換え大豆の定量検査

ELISA 法定量検査用＜GMO＞大豆キットシリーズは、代表的な遺伝子組換え大豆のラウンドアップレディ大豆を定量検査できます。試料が原料生大豆、脱脂大豆、精製タンパク、Toasted Meal などに限定されるものの、感度精度とも PCR 法と同等以上の検査を自施設内で簡単に行うことができます。PCR 法と違いおおがかりな機器／施設や高度技術者を必要としないため、より現実的に利用しうる定量検査方法といえます。遺伝子組換により発現する特定のタンパクを、抗原抗体反応を利用して測定します。

これらの製品は、Strategic Diagnostics Inc.社が遺伝子組換え作物のメーカーと提携して開発したもので、国内では厚生労働省の遺伝子組換え大豆指定定量検査法（<GMO>大豆）として承認されています。

製造：Strategic Diagnositcs Inc.社

	遺伝子組換え大豆検査 ＜GMO＞ シリーズ	
品名 コードNo 価格･仕様	**＜GMO＞大豆キット 96 ウェル （1411M） 90,000 円 英語名：GMO Soya Kit (710000)**	**RoundUpReady 大豆に発現する CP4 EPSPS タンパクを検出するもので、原料生大豆や脱脂大豆中におけるラウンドアップレディ大豆の混入率を 0.3-2.5%の範囲で定量します。（厚生労働省指定検査法：2003 年 6 月現在）**
キット内容	**抗体固着マイクロプレート（96 ウェル=8 連×12）、アッセイバッファー、酵素複合体液、発色基質液、反応停止液、抽出バッファー、洗浄バッファー濃縮液、プレートシーラー等。 ご注意：定量用参照標準は必須です。別途お求め下さい。 ＜GMO＞大豆キット定量用参照標準セット（すべて 0、0.3、1.25、2.5%各 3g の 4 本組） 全粒紛用 （1411M1）、脱脂紛用 （1411M2） 各 15,000 円**	
品名 コードNo 価格･仕様	**＜GMO＞大豆キット SQ 96 ウェル （1411MSQ） 120,000 円 英語名：GMO RUR Soya Kit (7099999)**	**RoundUpReady 大豆に発現する CP4 EPSPS タンパクを検出するもので、Toasted Meal や精製タンパク製品中におけるラウンドアップレディ大豆の混入率を 0.3-2.5%の範囲で定量します。**
キット内容	**抗体固着マイクロプレート（96 ウェル=12 連×8）、酵素複合体液 1&2、発色基質液、反応停止液、抽出バッファー、洗浄バッファー濃縮液、プレートシーラー等。 ご注意：定量用参照標準は必須です。別途お求め下さい。 ＜GMO＞大豆キット定量用参照標準セット（すべて 0、0.3、1.25、2.5%各 3g の 4 本組） 大豆タンパク用（1411M4） 各 15,000 円**	
目的･用途	**生大豆、大豆紛、脱脂大豆、精製大豆タンパクなどにおける、遺伝子組換え大豆 RoundUpReady のスクリーニング、定量検査。**	
原理と 検出限界	**サンドイッチ式ＥＬＩＳＡ法 0.3%**	
所要時間 保存条件	**前処理：約1時間、キット操作：約3時間 ２－８℃、暗所冷蔵**	

本品は食品衛生･環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。 必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用･保管･廃棄等の方法には充分ご注意下さい。 なお、価格･仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社 http://www.azmax.co.jp/ E-mail:sales@azmax.co.jp
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Ｆａｘ 03-5543-0312

食品･飼料･環境検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

	キット、バージョンにより異なります。また、予告なく仕様変更される場合があります。ご使用前に、必ずキット取扱説明書でご確認下さい。 **＜GMO＞大豆キットの場合**
前処理	**①試料を破砕、ふるいにかける。（40US メッシュおよび 100US メッシュ）** **②バッファーと混合し、高速振とう後、遠心分離し、上清をとる。** **③アッセイバッファーで 300 倍に希釈する。（大豆全粒、脱脂大豆試料の場合。タンパク＝10 倍）** **（②③は参照標準も同様に行う）**
操作	**①各ウェルに試料ないし参照標準 100μL を滴下する。** **② 37℃で 1 時間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、調製済バッファーで 3 度洗浄。** **③各ウェルに酵素複合体液を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **④ 37℃で 1 時間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、調製済バッファーで 3 度洗浄。** **⑤各ウェルに発色液を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **⑧ 室温で 10 分間インキュベート。** **⑨各ウェルに反応停止液を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **⑩吸光度（４５０nm 波長）を測定する。** **試料･標準ともテストを行い、標準の吸光度から検量線をとり、試料の濃度を換算定量します。**
前処理	**＜GMO＞大豆キット SQ の場合** **①試料を破砕、ふるいにかける。** **②バッファーと混合し、高速振とうで抽出し、静置、上清をとる。（参照標準も同様）**
操作	**①各ウェルに試料ないし参照標準 100μL を滴下する。** **② 室温で 1 時間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、調製済バッファーで 4 度洗浄。** **③各ウェルに酵素複合体液1を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **④ 室温で 30 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、調製済バッファーで 4 度洗浄。** **⑤各ウェルに酵素複合体液2を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **⑥ 室温で 30 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、調製済バッファーで 4 度洗浄。** **⑦各ウェルに発色液を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **⑧ 室温で 30 分間インキュベート。** **⑨各ウェルに反応停止液を 100μL ずつ滴下して振とうする。** **⑩吸光度（４５０nm 波長）を測定する。** **試料･標準ともテストを行い、標準の吸光度から検量線をとり、試料の濃度を換算定量します。**
その他必要機器試薬	**＜GMO＞大豆キット向け高速破砕器（推奨）** **BLIXER 3B-GMS（14R7M）390,000 円** **同予備波刃（14R8M）23,000 円** **同予備容器（14R9M）62,000 円** **同予備フタ（14R9MF）19,000 円** **ハンドルスクレーパー（オプション）（14R9MHS)30,000 円** **はかり（0.005g-0.01g）、ふるい（40＆100US メッシュ相当）、** **高速振とう器、遠心分離機、ミニ試験管、マイクロピペット、** **マイクロプレートリーダー(450nm)、** **恒温器（GMO 大豆キットの場合）** 

本品は食品衛生･環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。 必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用･保管･廃棄等の方法には充分ご注意下さい。 なお、価格･仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社 http://www.azmax.co.jp/ E-mail:sales@azmax.co.jp
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312